

製品名: TANK ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18642**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	TANK
別名	TANK; ITRAF; TRAF2; TRAF family member-associated NF-kappa-B activator; TRAF-interacting protein; I-TRAF
遺伝子 ID	10010.0
SwissProt ID	Q92844
免疫原	抗血清はヒト TANK 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 171-220

背景

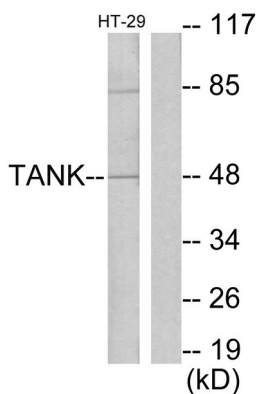
TRAF（腫瘍壊死因子受容体関連因子）ファミリーのタンパク質は、腫瘍壊死因子受容体スーパーファミリーのメンバーと会合し、シ

グナルを伝達します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は細胞質中に存在し、TRAF1、TRAF2、または TRAF3 に結合して、TRAF を細胞質内に潜伏状態で隔離することにより、TRAF の機能を阻害します。例えば、この遺伝子によってコードされるタンパク質は、エプスタイン・バーウイルスのトランスフォーミングタンパク質である LMP1 への TRAF2 の結合を阻害し、LMP1 を介した NF- κ B の活性化を阻害します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 3 つの選択的スプライシング転写バリエーションがみついています。[RefSeq 提供、2010 年 11 月]、機能: TRAF を潜伏状態に維持することにより、TRAF 機能の調節因子として機能します。過剰発現は、CD40、TNFR1、および TNFR2 によってシグナル伝達される TRAF2 を介した NF- κ B の活性化を阻害します。TRAF2 の LMP1 への結合をブロックし、LMP1 を介した NF- κ B の活性化を阻害します。I- κ B キナーゼ (IKK) の調節に関与している可能性があり、IKK 活性を調整できる TBK1 や IKK ϵ などのキナーゼのアダプターとして機能する可能性があります。、PTM: IKK ϵ によってリン酸化されます。、類似性: 1 つの C2H2 型ジンクフィンガーを含みます。、サブユニット: TBK1 と相互作用します (TRAF-C ドメイン経由)。TRAF1 と相互作用します (TRAF-C ドメイン経由)。TRAF2 と相互作用します (TRAF-C ドメイン経由)。この相互作用は、IKK ϵ による TANK のリン酸化によって破壊されます。TRAF3 と相互作用します (TRAF-C ドメイン経由)。TRAF3 との相互作用は、TRAF1 および TRAF3 との相互作用よりも弱い。IKK γ と相互作用し、IKK ϵ および TBK1 によってその相互作用が増強される。TANK、IKK β 、および IKK γ からなる三元複合体の一部である。、組織特異性: 普遍的。、

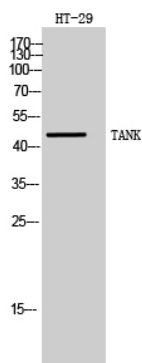
研究分野

RIG-I 様受容体;

画像データ



I-TRAF 抗体を用いた HT29 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TANK ポリクローナル抗体を用いた HT-29 細胞のウェスタンブロット解析